



証券コード
2449

平成26年8月期 決算説明会



平成26年10月17日

株式会社プラップ ジャパン

©2014 PRAP Japan, Inc. All rights reserved.

PRAP JAPAN, Inc.

平成26年8月期 連結業績の概況

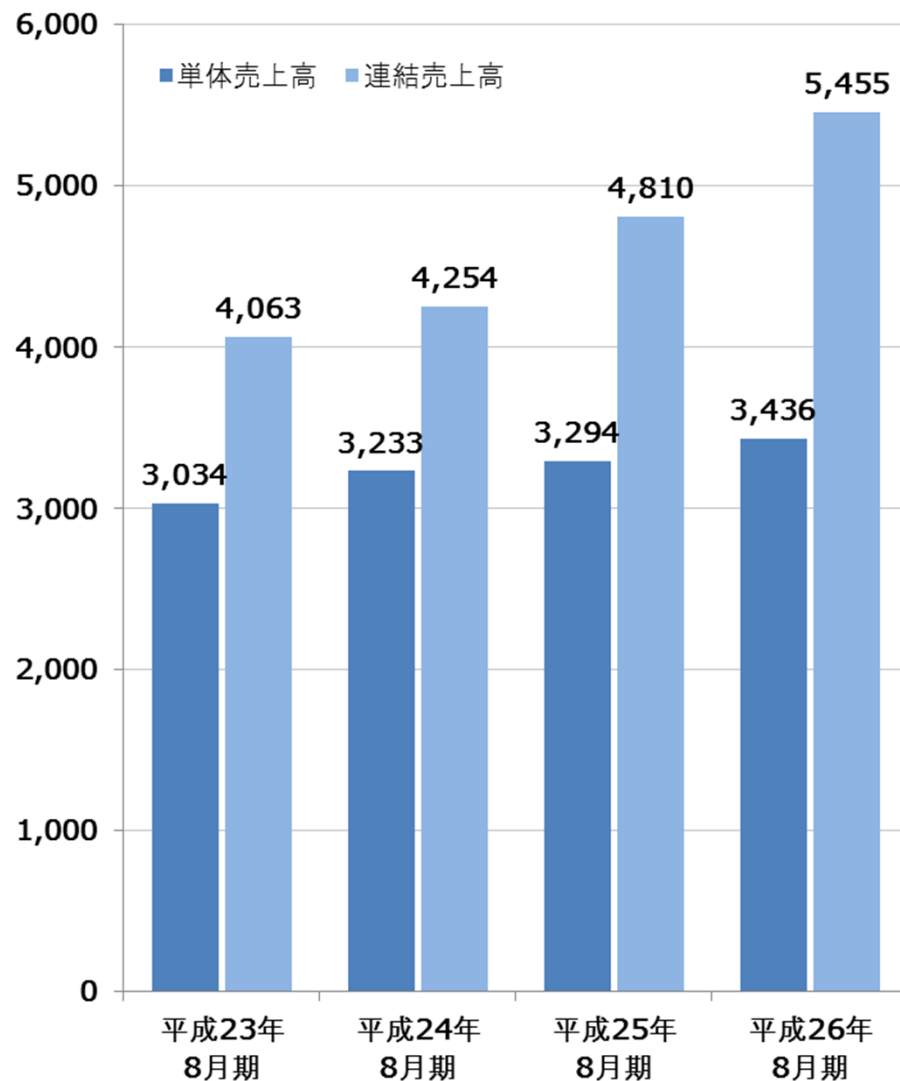
(単位:百万円)

	平成23年 8月期	平成24年 8月期	平成25年 8月期	平成26年 8月期	前期比 増減率	予想比 増減率
売上高	4,063	4,254	4,810	5,455	13.4%	9.2%
営業利益	422	447	555	653	17.8%	12.0%
経常利益	422	447	591	657	11.2%	8.1%
当期純利益	171	214	313	320	2.1%	2.9%

※予想比は平成25年10月11日発表の「平成26年8月期連結累計期間業績予想」との比較

売上高の推移

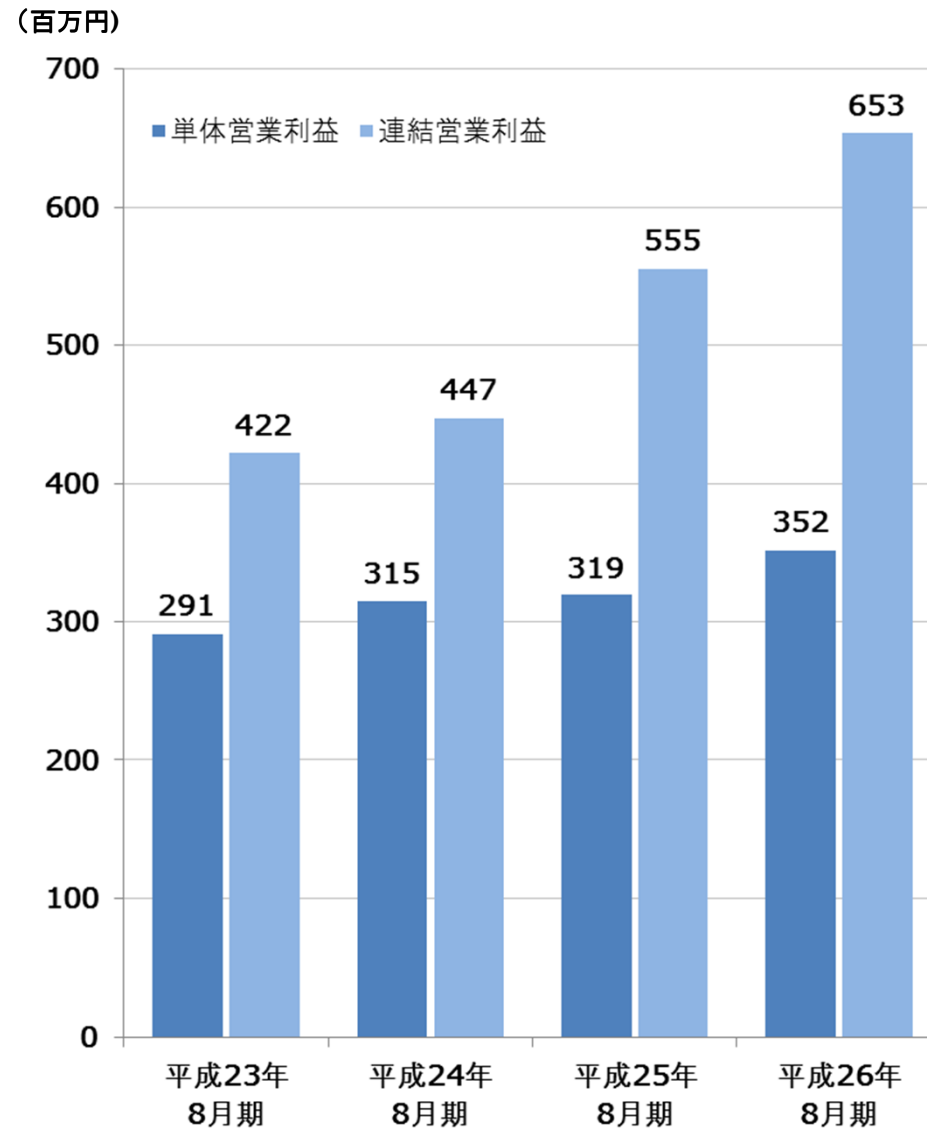
(百万円)



概要

- 連結ベースで過去最高売上を達成
- 連結売上高は前年比13.4%増(645百万円増)5,455百万円を達成
- 単体の売上高が前期と比較して141百万円(4.3%)の増収となったほか、国内子会社2社も堅調に推移
- 中国現地法人2社の業績が飛躍的に成長
- 前第2四半期より連結子会社化となったウィタンアソシエイツ株式会社の売上高が貢献

営業利益の推移

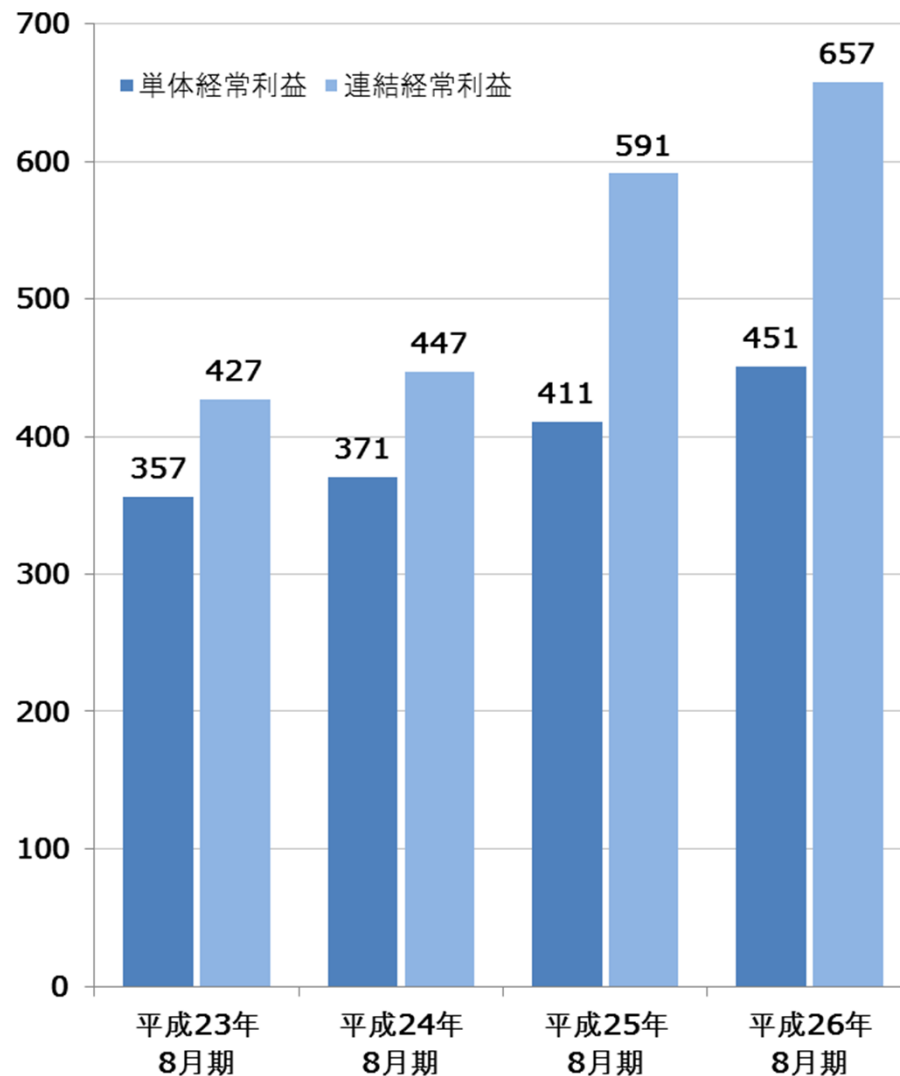


概要

- 営業利益は653百万円と前年比98百万円(17.8%)の増益を達成
- 売上原価489百万円(14.0%)、販売管理費56百万円(7.4%)が増加したものの売上高増加により増収
- 前第2四半期より連結子会社化したウィタンアソシエイツ株式会社の収益力が貢献

経常利益の推移

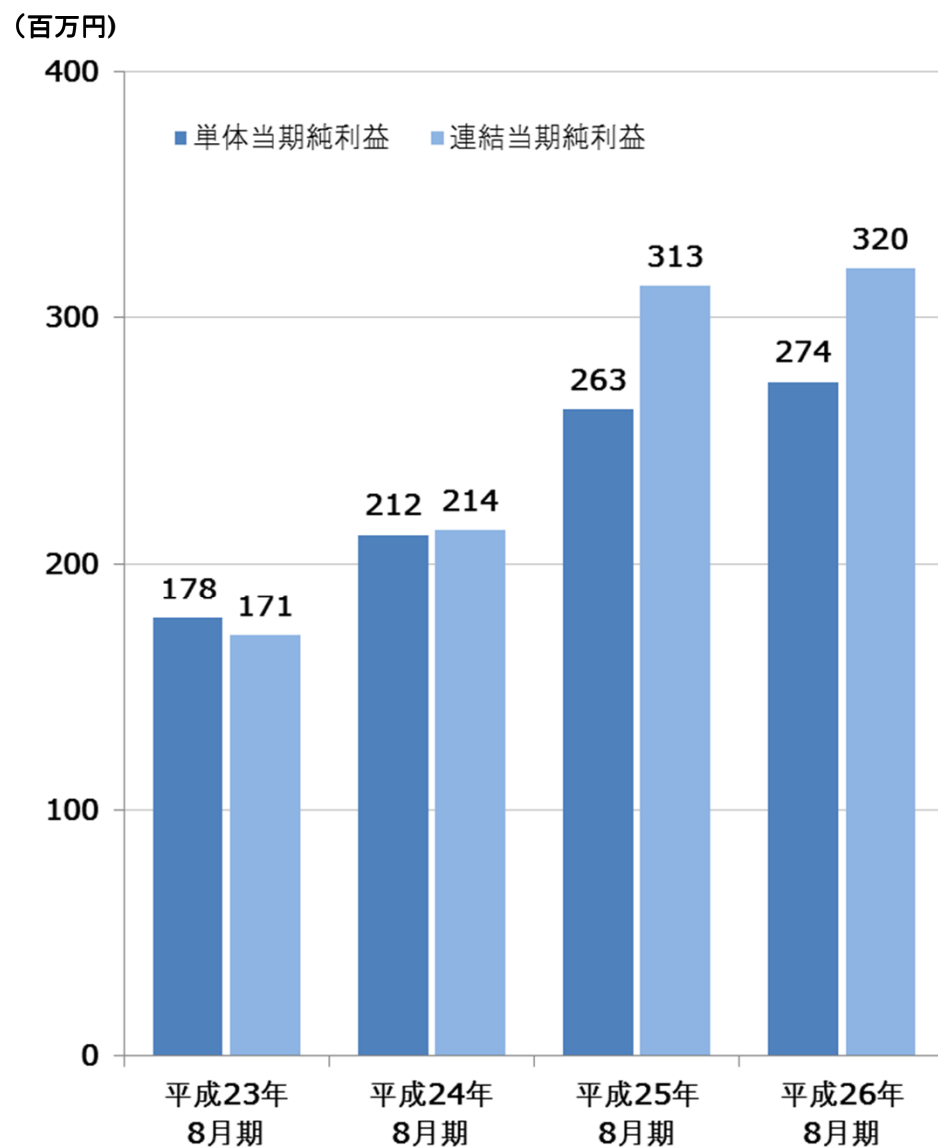
(百万円)



概要

- 経常利益は657百万円と前会計年度に比べ66百万円(11.2%)の増益
- 営業利益が前会計年度から98百万円(17.8%)が増益したことが影響

当期純利益の推移



概要

- 当期純利益は320百万円と前年度に比べ6百万円(2.1%)の増益を達成
- 当社創業者で元代表取締役会長の故矢島尚の役員退職慰労金の功績加算分などを特別損失として計上

連結ベースの営業概況

〔新規リテナークライアント〕

- 当連結会計年度は、新規リテナークライアントとして不動産、IT、食品メーカー、地方自治体、人材支援会社、教育関連、航空会社などの企業を獲得

〔新規および既存顧客のプロジェクト業務〕

- 新規および既存顧客のプロジェクト業務としては、ヘルスケア、ホテル、自動車、IT、医療機器メーカー、総合商社、消費材メーカーなどの企業を獲得

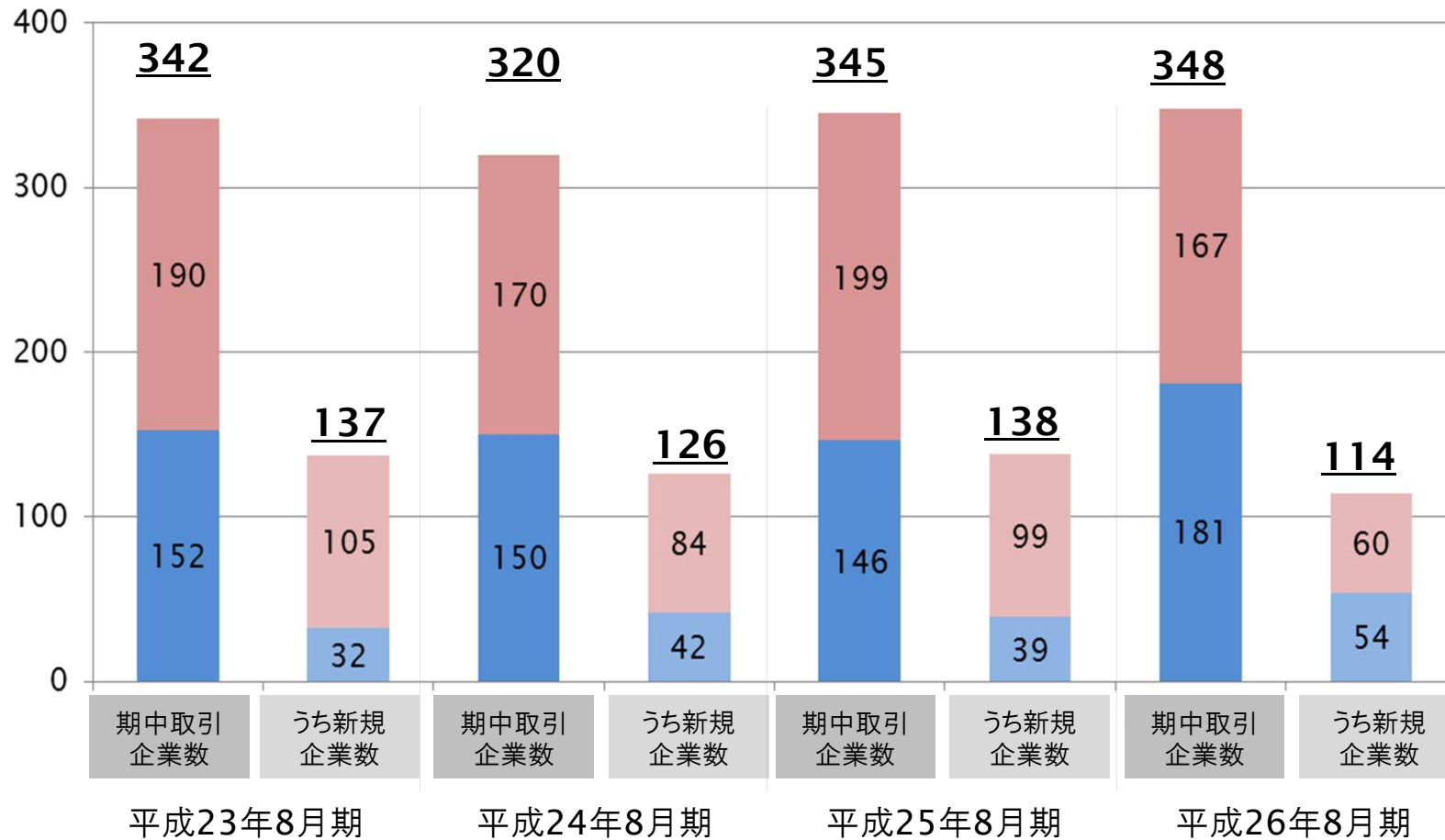
〔イベント関連〕

- 飲料メーカーの新製品発表会、消費材メーカーの展示会、百貨店の大型催事などを獲得
- IT企業におけるクリエイティブワーク、ヘルスケア、百貨店、タイヤメーカーのパンフレット制作や社内報制作などを受注

営業活動の概況

* プラップジャパン単体のみ

■ スポット契約企業数 ■ 新規スポット契約企業数
 ■ リテナー契約企業数 ■ 新規リテナー契約企業数



平成26年8月期 プラップジャパングループのトピックス

国内子会社が
本社ビルに集結

- ◆ 一層のシナジー効果
- ◆ 経営資源の効率的な活用

人材育成を管理する
HRD部門の設立

- ◆ 人材育成全般の見直し
- ◆ 人員の最適配置と人材開発の強化

プラップチャイナの新サービス

- ◆ 動画制作サービス
- ◆ 危機管理広報簡易マニュアル

平成27年8月期 連結業績の見通し

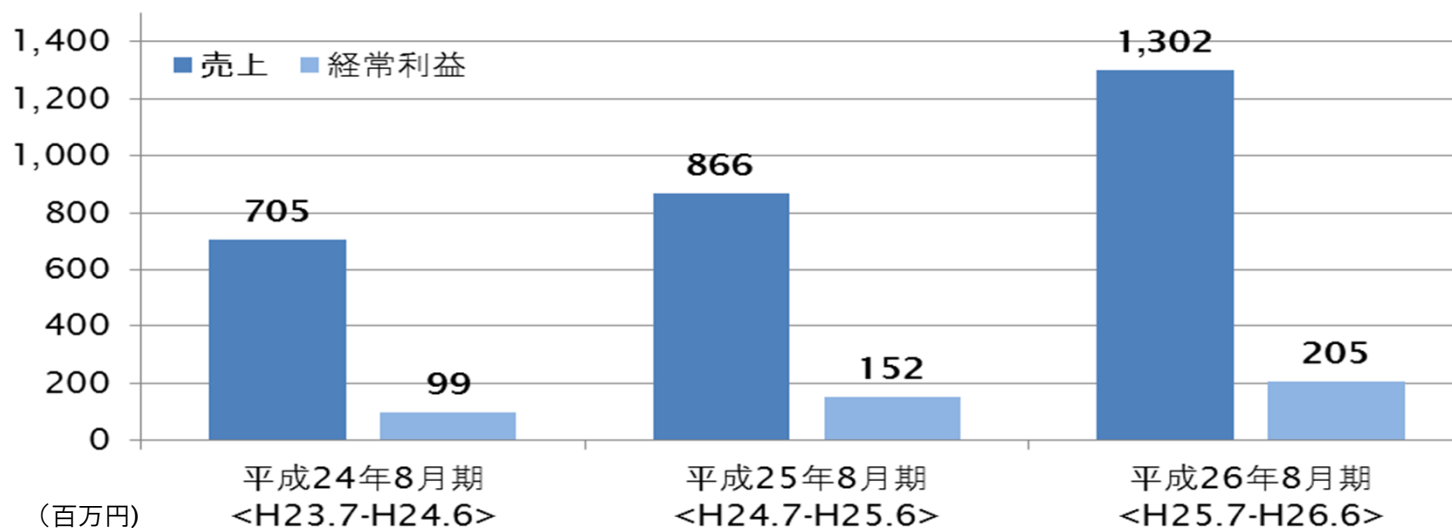
(単位:百万円)

	平成24年 8月期実績	平成25年 8月期実績	平成26年 8月期実績	平成27年 8月期予想	前年実績比 増減率
売上	4,254	4,810	5,455	5,461	0.1%
営業利益	447	555	653	670	2.5%
経常利益	447	591	657	672	2.3%
当期純利益	214	313	320	331	3.6%

中国事業の業績推移

(単位:百万円)

	平成24年8月期 <H23.7-H24.6>	平成25年8月期 <H24.7-H25.6>	平成26年8月期 <H25.7-H26.6>
売上	705	866	1,302
経常利益	99	152	205

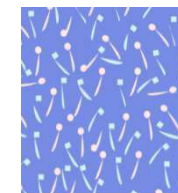


* 中国の業績は、前年7月-当年6月分を連結に組み入れ



証券コード
2449

プラップジャパングループ 概要および今後の展望



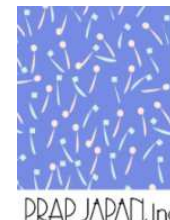
PRAP JAPAN, Inc.

©2014 PRAP Japan, Inc. All rights reserved.

PRAP JAPAN, Inc.

会社概要

- 創 立 1970年
- 資 本 金 4億7千万円
- 代 表 者 代表取締役社長 杉田 敏
- 本 社 東京都港区赤坂1丁目
- 連結売上高 54億55百万円(平成26年8月期)
- 連結従業員数 259名(平成26年8月末現在)



会社概要



■ 連結子会社

- 北京普樂普公共関係顧問有限公司〈プラップチャイナ〉
- 株式会社ブレインズ・カンパニー
- 株式会社旭エージェンシー
- 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司〈ブレインズチャイナ〉
- ウィタンアソシエイツ株式会社

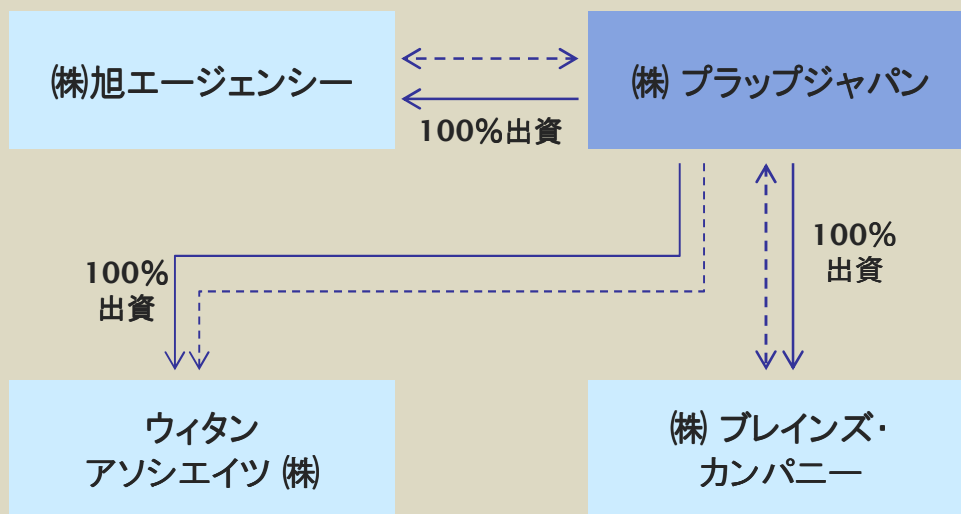
沿革

1970	港区南青山3丁目に設立 パブリシティ・編集制作
1973	文化事業スタート
1988	公共企業体広報部設立 クライシス対応スタート
1991	国際部設立 外資系企業へのサービス拡大
1997	北京普楽普公共関係顧問有限公司設立 PR部、国際部を「コミュニケーションサービス本部」へ、
1999	コミュニケーションコンサルティングスタート(メディアトレーニング、 クライシストレーニング、広報セミナーなど)
2004	金融プロジェクトチームを新設
2005	JASDAQ上場
2006	戦略企画部設立
2008	情報セキュリティマネジメントシステム「ISO/IEC27001」を全社で取得
2009	株式会社旭エージェンシー・北京博瑞九如公共関係顧問有限公司を連結子会社化
2010	慶應義塾大学にてプラップジャパン寄付講座開講 DI(デジタルインフルエンサー)事業推進室、WEBコミュニケーション部を新設
2011	デジタルPRの総合ポータルサイト Digital PR Platformのサービス開始
2012	ウィタンアソシエイツ株式会社を連結子会社化
2014	HRD部設立 国内子会社がアーク森ビルに集結

プラップジャパングループ

国内市場

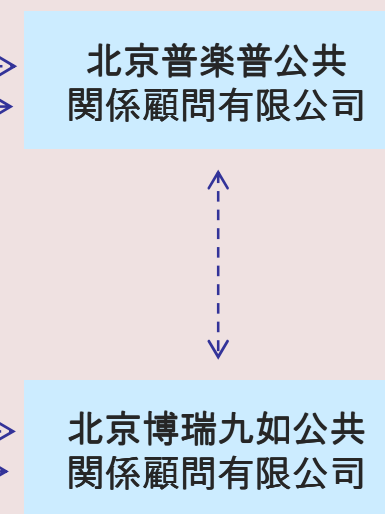
主に国内市場におけるPR活動全般を支援。旭エージェンシー、
ウィタンアソシエイツは、欧州顧客のインバウンド施策に強み



—— 出資関係 - - - 取引関係

中国市場

主に中国国内におけるPR・
マーケティング活動を支援



グループ会社概要

名称	株式会社 ブレインズ・カンパニー	株式会社 旭エージェンシー	ウィタンアソシエイツ 株式会社	北京普楽普 公共関係顧問 (プラップチャイナ)	北京博瑞九如公 共関係顧問 (ブレンズチャイナ)
創立	1974年	1980年	1982年	1997年	2008年
資本金	10百万円	20百万円	18百万円	37万USドル	20万USドル
代表者	小山 純子	長濱 嘉三	河上 貴己	CEO:杉田 敏	CEO:泉 隆
本社	東京都港区 赤坂1-12-32 アーク森ビル	東京都港区 赤坂1-12-32 アーク森ビル	東京都港区 赤坂1-12-32 アーク森ビル	(北京オフィス) 中国北京市東城区 東長安街1号東方広場 西1座弁公楼902室 (上海オフィス) 中国上海市淮海中路 93号大上海時代広場 弁公楼2509-10室	中国北京市東城区 東長安街1号東方広場 西1座弁公楼709室
従業員数	11名	7名	5名	53名	13名
特長	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング活動を支援するライフスタイル提案型の戦略的PRにおいて実績 アート、デザイン、食、ヘルスケア、美容などカルチャー分野に強み 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング・コミュニケーション・エージェンシーとしてマーケティングの入口から出口までをフルサポート 海外クライアントとの取引に多数の実績 	<ul style="list-style-type: none"> クロスボーダー・コミュニケーションおよびICT分野を中心としたB to B分野のPRにおいて高い実績 欧州のゲートウェイ・プログラムなどEUの公的機関を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 日本のPR会社として、他社に先駆け中国国内に現地法人を設立。現在、2現地法人、3事務所を拠点に事業を展開 中国市場において、日本企業のマーケティング活動において多数の実績 特に、インターネットマーケティング部を新設し「微博」などのデジタルインフラを活用したコミュニケーション活動に強み 	

45期の主要な取り組み

1. 人材育成、人的資源の拡大

➡ 次期3ヵ年(46-48期)で、グループ300人、PJ単体で180人体制に

2. デジタルを中心とした新規サービス

➡ デジタル・インフラを活用したサービスの拡充および開発の推進

3. 中国の強化および新規海外市場への進出

➡ 中国子会社の安定的な収益力の強化

➡ 市場調査の徹底を経て、新規市場への進出

4. グループ経営体制の再構築

➡ 営業部門のクロスセリング、非営業部門の本社管理体制を徹底

新サービス「ソーシャルリスク対策支援プログラム」

プラップジャパン

- メディアトレーニング、クライシス対応などの経験・ノウハウが豊富
- 広報部からのネット危機管理・対応(炎上等)の相談が増加傾向
- コンサルティング中心

ガイアックス

- ソーシャルクライシスに関する事例を数多く対応、知見が豊富
- 炎上を24時間体制で発見・対応できる仕組みを保有
- システム・ツールが中心

ソーシャルリスク対策支援プログラムの開発

ターゲット

炎上のリスクを抱える全てのクライアント企業

**広報部・総務部・
リスク対策部門**



サービス

まだクライシスが発生していない状態の対策準備から、発生時の想定訓練、発生時のモニタリングまで、ワンストップで提供できるようにパッケージ化



メリット

ガイアックス社の知見・ソーシャルリスニングノウハウ・技術の活用
PR会社と専門会社相互の強みを融合
ソーシャルリスクに備えるシミュレーショントレーニングの開発



新サービス「ソーシャルリスク対策支援プログラム」

ソーシャルメディア導入コンサルテーション

ソーシャルリスクに備えるための体制作り

¥1,150,000~

- ✓ 現状把握を目的とした調査
- ✓ 運用にあたっての全体設計
- ✓ 方針・ガイドライン策定
- ✓ 運用体制の構築

等

ソーシャルリスニング・運用サポート

ソーシャルリスク発見のための仕組みづくり

¥150,000~

¥220,000(初期費用)

- ✓ リスニングツールの導入
- ✓ 運用サポート+レポートニング
- ✓ 顕在化した課題に対するコンサルテーション

ソーシャルリスクトレーニング

ネット危機に備える想定訓練

¥1,200,000~

- ✓ ソーシャルリスクの発生状況を擬似的に再現したシミュレーショントレーニング
- ✓ 経験豊富な専門コンサルタントによる指導
- ✓ 最新のリスク傾向に関するレクチャー

本資料お取扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。ご承知おきください。

お問い合わせ

株式会社プラップジャパン 広報・IR室

TEL:03-4580-9125 E-mail:ir_info@ml.prap.co.jp